

# 新聞の見出しのデザイン

30期生

## I テーマ設定の理由

新聞を読んでいて、まず目につくのは見出しである。その見出しも、ちょっと注意してながめると、文字のバックに斜線、円弧、その他さまざまな模様がいっていることに気がつく。毎日意織的に見ると、あとからあとから異なった模様が現れてくるし、「これは前にも見たことのある模様だな。」などということを見出したりもする。

そうしているうちに一見つまらないもののようにだけれど、自由研究のテーマにしてみてもおもしろいのではないかと、という気がしてきた。いったいその模様の種類はどれくらいあるのだろう、またその模様は、見出しの内容と何か関係があるのだろうか、そんなことを調べてみたかったのである。

## II 研究方法

### (1) 調査に使った新聞

7月20日～8月31日の、休刊日を除く42日間の毎日新聞朝刊と、その他調べられなかった日を除く38日間の朝日新聞朝刊

(1種類より2種類の方が、より多くのパターンを見出せると思ったので)

### (2) 研究項目

- (1) 模様の種類
- (2) 頻出する模様
- (3) 模様の分類

### (3) 調査方法

まず、第1日目に出てきた種類を各1つずつ切りぬき、それぞれについて出てきた個数、ページと、見出しの内容を参考のため要点がわかる程度に記録する。

2日目になると、すでに記録してある種類と、新出のものがある。新出のものだけ切りぬいて、1日目と同様の記録を両方ともしておく。これを毎日続けてやっていると、日がたつほど切りぬく見出しが減ってくるわけである。

記録した見出しは、毎日朝日それぞれにわけて、通し番号をつけて整理した。またこの見出しを選ぶとき、毎日同じ見出しの連載ものと、広告の見出しは省いた。

## III 研究結果

### (1) 模様の種類

最終的に数えることのできた種類数は、毎日新聞で111種類、朝日新聞で91種類。つ

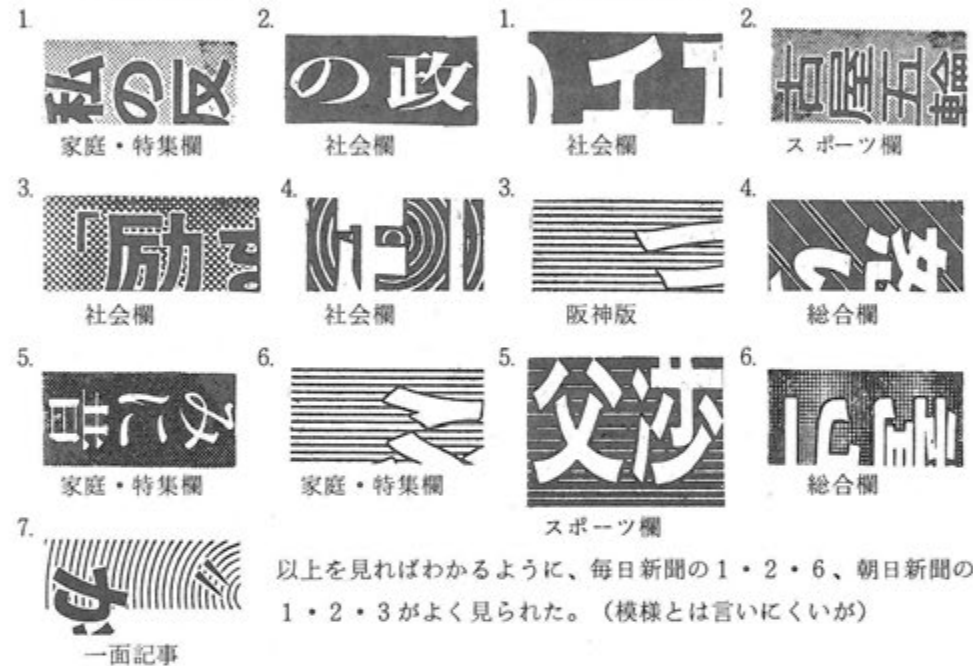
まり、通し番号の最後が、それぞれ111と91で終わったということである。これは、あくまでも上記の期間に出てきた数であって、これが絶対的な数とは言えないが、8月下旬にはほとんど切りぬきがないことから、だいたいこの程度の種類のものが使われていると言えるだろう。(模様の例は以下の項目で示す。)

### (2) 頻出する模様

これは、やはりちょっと見ただけですぐ目につくような、単純なものが多い。だいたいどんな内容の記事にも出てくるものもあるが、調べた範囲で特に頻出した欄を合わせて書く。

<毎日新聞>

<朝日新聞>



以上を見ればわかるように、毎日新聞の1・2・6、朝日新聞の1・2・3がよく見られた。(模様とは言いにくい)

### (3) 模様が同じでも黒い部分と白い部分とが逆になっている組み合わせ

このような組み合わせは、よく注意してみると意外に多い。これを、2つで一組として考える。つまり、逆のない単独の模様の他は、対になっていると考え、対になっている2つは、模様さえ同じなら、黒と白が逆でも多く使われる欄が一致するかどうかについて調べてみた。

まず、毎日新聞では全部で42組の組み合わせがあり、多く使われる欄が、

- 一致するとわかるもの 5組
- 一致しないとわかるもの 4組
- わからないもの 33組

(図は一致するもの)

これも一致している欄を合わせて書いておく。



(「わからない」というのは、42日間通じて1つか2つ程度しか出てこない模様がたくさんあり、それについては何とも言えないものがあるので。)



家庭欄 国際欄

次に朝日新聞では、全部で27組の組み合わせがあり、多く使われる欄が、一致するとわかるもの 5組、一致しないとわかるもの 4組、わからないもの 18組

朝日新聞の場合、毎日新聞の方に比べて、逆のない単独の模様がやや多い。

一致するものの割合から見て、朝日新聞の方がこの傾向が強いと言えるようである。



スポーツ欄 一面記事



阪神版 社会欄

#### [4] 模様分類

集めたデータをながめてみると、さまざまな模様もベースになっている模様を見れば、いくつかのグループに分類できることに気がつく。そこで自分で勝手に名前をつけ、円、平行線A ([2]の毎日新聞の6、朝日新聞の3)、平行線B (見出しの長方形の短い方の辺に平行な直線をベースにしている模様)、波線、濃淡 (点の連続によって濃い部分と薄い部分ができてくるもの [2]の毎日新聞の3)、斜線、小さな模様が連続してできているもの、その他、の8つに分類してみた。

そして今度は、同じグループの中にある模様は、多く使われる欄が同じかどうか、つまり、グループごとに使われる欄が決まっているのかどうかについて調べることにした。しかしこの場合、8つのうちあとの2つのグループは、さまざまな模様がありすぎて、傾向を見ようにもなかなか統制がとれないため、省くことにした。

まず、毎日新聞の場合、平行線Aと濃淡のものは数が少ないので省いて調べた。

欄	一面	総合	内政	国際	経済	家庭・特集	スポーツ	阪神版	社会
円	2	2	1	1	2	1	3	なし	3
平行線B	2	なし	1	なし	なし	1	なし	なし	1
波線	なし	1	1	2	1	2	1	1	なし
斜線	5	なし	なし	なし	なし	1	なし	1	なし

調査対象にした4つのグループでも、数が不十分なせいか、使われる欄があまり限定されず、どれにも同じように使われる、という感じがある。ただ、斜線のものについては、一面記事に多いということが言えると思う。

次に朝日新聞の場合、平行線Bのものの数が少なかったため、それを省いた。

(朝日新聞には内政の欄がない。)

欄	一面	総合	国際	経済	家庭・特集	スポーツ	阪神版	社会
円	2	なし	なし	なし	なし	2	なし	6
平行線A	なし	なし	なし	なし	1	2	1	2
波線	なし	なし	1	3	6	3	2	1
濃淡	なし	3	1	なし	2	なし	なし	なし
斜線	5	3	1	2	なし	なし	1	2

これを見てみると、まず円のものに関して、社会欄に多いと言えると思う。その他に、波線のものは家庭、特集欄に、斜線のものは一面記事に多いという傾向が見られる。

毎日新聞の方の表と、朝日新聞の方の表を合わせて見てみると、一面記事に斜線の模様が多い、という印象が強い。新聞の発行者が意識的にそうしているのかどうかはわからないが……。斜線模様には[3]で示したもののほか、下のようなものがある。また、斜線の模様に関しては、朝日新聞の方が種類が豊富である。



#### IV 結論

本当なら、ここに決定的な見出しの模様と内容の規則性を書くのが目的の自由研究だったのだが、夏休みだけでは数が不十分な種類もあり、規則性があるともないとも言えないのである。そこで、この研究をやっていて気づいたことをあげようと思う。

まず、一口に見出しの模様といってもさまざまな種類があり、全然違うものだと思っていたものでも、よく見ると黒と白が逆になっただけの組が案外たくさんあったこと。それから、小さな模様がいくつも連続して1つの模様を作っているようなものが多かったが、それらは抽象的な模様ばかりだったこと。例外として1つだけ、野球ボールの模様があったが、言うまでもなくこれは、野球に関する記事にのみ使われていた。

規則性、という面で、傾向としてほしい家庭、特集、スポーツ欄に細かい凝ったデザインが多く、一面、経済、総合、国際などは、わりあいワンパターンのもが多かった。ただし、一面には結果でも述べたように斜線がベースになった模様がよく使われていた。

#### V 総括

最初から必ずしも期待どおりの結論が出せるとは思わなかったが、42日もの間調べた、ということで、今までやった自由研究のうちでいちばんまとまったと自己満足している。ただ、やはり計画性に欠けていたことから、データが多すぎて收拾がつかなくなった、という感じがある。

見出しのデザインといっても、美術の範囲にはいるほど、模様自体を深く追究したわけでもなく、何となく雑学的だしまさか成功した例だなどとは言わないが、自分なりにやっていたとても楽しい研究だった。